

## 2 カリキュラム研究部の研究実践

カリキュラム研究部では、発達の課題を踏まえた道徳教育の内容の重点化を図り、道徳科と各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動との関連的指導の充実が図られるよう、全体計画をはじめとしたカリキュラムの作成やそれらの活用の在り方についての研究を推進してきた。

### (1) 子供のよさの伸長を図る道徳教育の内容の重点化

とよおか学府の子供たちは、素直で明るく、優しく穏やかな気質があるというよさをもっている。そのよさのさらなる伸長を図るため、Bの内容項目である「相互理解、寛容」・「親切、思いやり」を軸に、学府の教育目標の達成及び子供・生徒の道徳性を養っていくこととした。また、各小中学校の実態に応じて、学校独自の重点項目を追加し、目の前の子供のよさを伸長していきたいと考えた。

#### ア 各小中学校の重点内容項目

- ・豊岡南小 B低(親切、思いやり)  
中(相互理解、寛容・親切、思いやり) 高(相互理解、寛容・親切、思いやり)
- ・豊岡北小 A(善悪の判断、自律、自由と責任) B(相互理解、寛容・親切、思いやり)
- ・豊岡中 A(希望と勇気、克己と強い意志) B(相互理解、寛容・思いやり、感謝)

#### イ とよおか学府の重点目標

自分の考えを相手に伝えて、互いの違いを認め合いながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育成する。

#### ウ 各小中学校の重点目標

- ・豊岡南小 互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重したり、相手に対する思いやりの心を持ち、親切にしたりする態度を育成する。
- ・豊岡北小 相手に対する思いやりの心を持ち親切にする態度と善悪を判断する態度を養い、自立心や自律性を育成する。
- ・豊岡中 互いの個性や立場を尊重し、様々な見方・考え方があることを理解した上で、他者から謙虚に学び、自主的に考え・判断し、誠実に実行しようとする態度を育成する。

### (2) 道徳教育全体計画をはじめとするカリキュラムの作成

#### ア 道徳教育全体計画

- ・子供の道徳性を養う道徳教育が、意図的・計画的に行われるよう道徳科の授業を中心とし、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育の内容、家庭地域との連携等を踏まえた道徳教育全体計画を作成した。
- ・学府の重点内容項目を意識して、各校の「全体計画」の見直しを図った。

<道徳教育目標> 自他共に思いやる心をもつ子の育成		
重点目標 ◎ 自分の考えを相手に伝えて、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育成する。 ◎ 相手に対する思いやりの心を持ち親切にする態度を育成する。 ○ 善悪を判断する態度を養い、自立心や自律性を育成する。		
<重点指導内容>		
◎学府共通	B相互理解、寛容	B親切、思いやり
○豊岡北小	A善悪の判断、自律、自由と責任	

【 重点内容項目を意識して、見直した「全体計画」(例：豊岡北小学校) 】

## イ 別葉

- ・道徳科の内容との関連を踏まえた各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の「内容及び時期」、家庭地域との連携のための活動等を示した別葉を作成した。
- ・道徳科以外の教科や道徳教育に関わる体験活動、家庭地域との連携においても、内容項目を意識して道徳教育を推進できるようにしている。

## ウ 年間指導計画

- ・学府における重点内容項目を考慮し、それぞれの内容項目の年間取扱時数を決定し、重点内容項目が効果的に指導できるようにした。
- ・道徳科の教科書を基本にしながも、地域教材や文部科学省「私たちの道徳」、テレビ番組などから、より子供の実態に合った教材を選定し、情報モラルや現代的な課題に関する指導を踏まえて、年間指導計画の見直しを図った。

1年			2年		
実施月	内容項目	教材名	実施月	内容項目	教材名
4月	よりよい学校生活、集団生活の充実	どきどき わくわく いちねんせい	4月	節度、節制	るっぺ どう したの
	節度、節制	きょうも げんき		親切、思いやり	あおいば りっぱな 二年生
5月	礼儀	ごんな とき なんて いうの		規則の尊重	黄色い ベンチ
	個性の伸長	みんなの はなまる	5月	正直、誠実	ねこが わらった
	希望と勇気、努力と強い意志	うさぎと かめ		礼儀	たびに 出て
6月	正直、誠実	ひつじかいの いたずら	勤労、公共の精神	みんなの ニュースがかり ※情報モラル	
	善悪の判断、自律、自由と責任	コンタの くつ (心ゆたかに)	6月	善悪の判断、自律、自由と責任	ぬれた ボール
	善悪の判断、自律、自由と責任	ぼんたと かんた		親切、思いやり	バスの中で (心ゆたかに)
	正直、誠実	きんの おの		善悪の判断、自律、自由と責任	ポケット ニつ
			節度、節制	あゆくんと カレーライス	

【重点内容項目を意識して、見直した「年間指導計画」(教材一覧)(例：豊岡北小学校)】

## エ 学府重点内容項目に焦点化したカリキュラム

- ・(1)で示した学府の重点内容項目が、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導とどのように関連するのかを明らかにし、小中学校9年間の道徳教育を一貫性をもって実践していきたいと考えた。そこで、とよおか学府では、小中学校の連携を図るため、道徳教育全体計画別葉から重点内容項目(「相互理解、寛容」\*小学校低学年は「親切、思いやり」)を取り出した「学府重点内容項目に焦点化したカリキュラム」を作成した。

学年	道徳科			国語	生活		算数・数学	英語	音楽	図画工作 美術	保健体育
	月	教材名	出典		社会	理科					
中3	6	言葉の向こうに	日次(朝日を参照)	作られた「物語」を 読ませて11月	日本国憲法 「基本的人権の尊重」/9月	自然界の中の生物/11月	多項式の計算/5月 因数分解/7月 平方根/9月	Chapter2project インタビューをしよう/7月		共同制作の魅力 自他の作品鑑賞 私との対話/7月、 12月、2月	球技/5月、1月 ダンス/10月
	7	思いを伝えることの難しさ	日次(朝日を参照)								
中2	11	コトの裏	日次(朝日を参照)	話し合ってみよう/11月	近代革命の時代/2月	生物の多様性と進化/10月	式の計算/5月 連立方程式/6月	Lesson2 Gestures /5月	鑑賞「アイズ」から/12月	自他の作品鑑賞 書き合う音楽と絵/7月、12月、2月	球技/5月、1月 ダンス/10月
	10	動物の生態について	日次(朝日を参照)	わかりやすく説明しよう/5月	動物の多様性と進化/10月	身近な生物を観察しよう/4月	正の数・負の数/4月 加法・減法/4月 乗法・除法/5月	Chapter2project OQを体験しよう/11月	鑑賞「魔王」/10月	自他の作品鑑賞 身近な生き物について/7月、12月、2月	球技/5月、1月 ダンス/10月
小6	7	みんなの自由な公園	NHK for school	「学級討論会」をしよう/5月	新しい日本、平和な日本/11月	「てこのはたらき」/10月 ・実験などの活動を通して様々な方法を身に付けていくようにする。	・考えを交流することを通して様々な方法を身に付けていくようにする。	英語の交流活動を通して、友達のことを理解したり、様々な考えがあることを知り、お互いの考えを聞き、合意を築く。	「想像のつぼみを広げよう」/4月 「自分の思いに合った思いやりを伝えよう」/5月 「互いの考えを聞き、合意を築く」/5月	「想像のつぼみを広げよう」/4月 「自分の思いに合った思いやりを伝えよう」/5月 「互いの考えを聞き、合意を築く」/5月	球つり/長縄跳び/11月 「タケノコ」/2月 「病気の予防」/9月
	11	アラソコ祭りなどエロ	廣雲堂あかつき	「伝説に心ごとを伝える」/5月 「絵画や写真を見るよき」/11月	世界の日本の歴史/2月						

【学府重点内容項目に焦点化したカリキュラム(例：豊岡北小学校・豊岡中学校)】

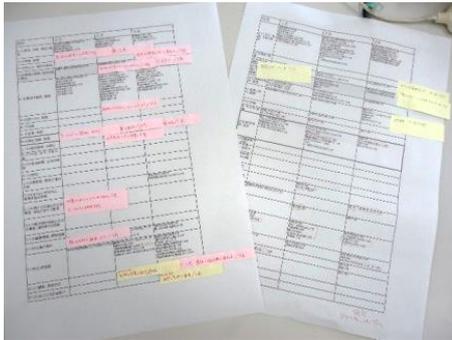
### (3) 道徳教育への意識を高めるカリキュラムの活用

道徳教育全体計画、別葉、年間指導計画等の作成だけにとどまらず、それらのカリキュラムの活用・改善を図ることで、よりよい道徳教育の実践につながるよう研究に取り組んだ。

#### ア 道徳教育全体計画、別葉、年間指導計画等の活用・改善

作成した道徳教育全体計画、別葉、年間指導計画等の活用を進めながら、気付いたことを書き込んだり、付箋を入れたりして、道徳教育がより意図的・計画的に行われるよう見直しを図った。

特に、道徳教育全体計画や学府重点内容項目に焦点化したカリキュラムは、拡大して職員室に掲示することで、常に職員目の目に触れ、意識して道徳教育を進めたり、必要に応じて加除修正を入れて見直ししたりできるようにした。



【加除修正を色別に付箋に書いて貼る】



【拡大したものを職員室の道徳コーナーに掲示】

#### イ 各教育活動と道徳科、道徳教育との関連

職員会議の各教育活動の提案に、ねらいと併せて関連する道徳科の内容項目を明記した。また、各教科の指導案には道徳教育との関連を、道徳科の指導案には各教育活動との関連を明記した。そして、別葉の活用・改善を進めることで、道徳科が道徳教育の要であること、そして全教育活動で道徳教育を意図的・計画的に行うことの意識化をより一層図った。

平成30年度・6年生を送る会について	
1 集会名	「6年生ありがとう、そして、はばだけの会」(昨年度)【児童会行事1】。 ※集会名とスローガンは、1/31(木)の代表委員会後に決定する。
2 日時	平成31年2月27日(水) 屋食くふれあい弁当>~5校時<全校集会>特日課。
3 めあて	※ステージの目標 → 「はばたきステージ」(キーワード: つなげる)。 …感謝の気持ちをもち、集団の成長を次年度へつなげる。
○	お世話になった6年生に感謝するとともに、中学校でも頑張ってもらいたいという応援の気持ちを伝えよう。(1~5年)【B 感謝】
○	お世話になった人たちに感謝するとともに、中学校でも頑張ろうという気持ちをもとう。(6年)【B 感謝】
○	それぞれの立場を考慮して、みんなで協力し、思いやりのある温かい会にしよう。【B 親しみやりの学府重点】

【職員会議の提案に関連する道徳科の内容項目の明記】

<p>○どんなものができたか、友達に紹介しよう。</p> <p>・ぼくは軍をつくったよ、いろいろな種類の軍があるね、一緒に街をつくりたいね。</p> <p>○おって たてた かたちから、いろいろなものをおもいついてつくる ことができたよ。こんどは、みんなのものを あつめてみよう。</p> <p>5 次の活動を知る。</p> <p>○次は、みんなの作品をあつめているいろいろな世界を作ろう。</p> <p>・動物がいる世界にしたいな。</p> <p>3 道徳教育との関連</p> <p>1枚の紙から立体作品ができる楽しさ味わいながら創作する活動を通して、一人一人の子どもの持ち味を生かし、表現する喜びを味わわせ、豊かな心育を育てる。</p>	<p>・発想が広がらない子には、友達の作品を見るよう伝え、「一緒に動物軍を作るよ」としたら、どんな動物を作ろうか。」などとテーマを伝え、イメージを広がりやすくする。</p> <p>【評価】</p> <p>紙を立えた形から何をやるか想像を膨らめ、折り方や紙の種類を選んで思い合った作品を作ろうとしていたか。(観察・作品)</p>
--	---

5 各教科や領域等との関連		
他教科	道徳科(感謝)	領域等
4月 社会科。 「火事からくらしを守る」。 「事故や事件からくらしを守る」。	6月 駅がぐるど。	5月 特活。 学級力プロジェクト。
4・5月 総合。 「きらりハート」。 (福祉について・ウェルカム赤ちゃん)。		日々の活動。 ・係・学級活動・給食。

【各教科(図画工作科)の指導案に道徳教育との関連を明記】【道徳科の指導案に各教育活動との関連を明記】

## ウ 道徳科の授業による各教育活動の補充、深化、統合

道徳の教科化に伴い、評価も始まった。教員がカリキュラムを意識して道徳教育を進めていくと、子供の道徳性が表出されている場面を見取りやすくなり、評価したい場面がおのずと増えていった。そうした道徳性の表れている場面や道徳教育に関わる活動の姿を写真に撮り、道徳科の内容項目と合わせて校内に掲示した。道徳科の授業の際に関連する諸活動を想起しやすくなったり、教育活動相互のつながりを感じたり、様々な活動に対して道徳的な価値付けをしたりすることで、各教育活動を道徳科の授業で、補充、深化、統合できるようになった。



【校内に掲示された子供たちの道徳性の表れた写真】

【様々な教育活動を想起した道徳科の授業】

## エ 重点内容項目を意識した教育活動

子供たちのよさをより一層伸ばす観点から決めた重点内容項目をカリキュラムとしてまとめ、子供たちのよさを生かし、伸ばす活動へと展開していった。重点の「相互理解、寛容」では、互いのよさを見つけ合う「いいところ見つけ」などの活動に取り組んだり、「親切、思いやり」では、「ちょボラ隊」を募り、人のためになる活動を行ったりした。

校内環境においても、学府共通の2つの重点内容項目を意識して、自他のよさに気付く写真や振り返り、プラスの言葉掛けを掲示していった。



【いいところ見つけ「花さき山」】



【全校のいいところ見つけの花】



【お客様を案内する「ちょボラ隊」】

(4) 保こ幼及び小中12年間を見通したカリキュラムの作成

とよおか学府では、磐田市合併した平成17年以前から3園、3校の教職員が集う合同研修会を開催し、12年間を見通した教育の推進に努めてきた。また、今回の道徳研究についても、カリキュラム研究部では、「保こ幼」と共通理解、共通認識のもと研究が進められるよう「学府重点内容項目に焦点化したカリキュラム」を作成し、12年間を通して育てたい子供像の具現に努めた。



【子供たちの様子をグループで交流】



【グループ協議から全体交流へ】

令和元年度 とよおか学府 重点内容項目に焦点化したカリキュラム《豊岡南小学校・豊岡中学校：相互理解、寛容 ※低学年 親切、思いやり》													
学年	道徳科		生活	算数・数学	英語	音楽	図画工作 美術	保健体育	技術・家庭	総合的な 学習の時間	学活	特別活動 学校行事等	
	月	教材名											出典
中3	5	言葉の向こうに	日本文学を生きる	作られた「物語」を 読んで11月	日本国憲法 「基本的人権の尊 厳」の意義	自然の中の生物／5 月	多項式の計算／5 月 因数分解／7月 立方根／9月	Chapter2 Project インタビューをしよ う／7月	共同制作の能力 他の作品鑑賞 絵との対話／7月 12月、2月	球技／5月、1月 ダンス／10月	作物の栽培／4月	修学旅行／4月 人間関係プロ グラム	体育大会／6月 合唱コンクール／10月
	7	思いを伝えることの難し	日本文学を生きる										
中2	11	コトコト	日本文学を生きる	話し合った「青い鳥」を 読んで11月	近代革命の時代／ 2月	生物の発達と進化 よう／1月	式の計算／5月 連立方程式／6月	Lesson2 Gestures ／5月	電算「アイデア」を しよ／12月	球技／5月、1月 ダンス／10月	作物の栽培／4月	校外学習／4月 人間関係プロ グラム	体育大会／6月 合唱コンクール／10月
	10	動物のつれづれ	日本文学を生きる	わがやうく「説明」 よう／5月	世界の暮らしと人権 「平等」の意義 世界の文化（アフリカ） アパルトヘイト／10月	身近な生物を観察 よう／4月	正の数・負の数／4 月 式の計算／5月 乗法・除法／5月	Chapter2 Project O Oさんを紹介しよ う／11月	鑑賞「魔王」／10 月	球技／5月、1月 ダンス／10月	木材制作および作品鑑賞 ／9月	校外学習／4月 人間関係プロ グラム	体育大会／6月 合唱コンクール／10月
小6	9	「ダン」をどうする	日本文学を生きる	「ダン」をどうする									
	10	「ダン」の集り	日本文学を生きる	「ダン」の集り									
小5	9	半割の授け	日本文学を生きる	半割の授け									
	1	半割の授け	日本文学を生きる	半割の授け									
小4	12	カクガクの手 すれちがひ	NHK for school 廣齊堂あかつき	「わたしたちの国」 様々な地域の人々 のくらしを知る。									
	2	カクガクの手 すれちがひ	NHK for school 廣齊堂あかつき										
小3	11	カクガクの手 すれちがひ	NHK for school 廣齊堂あかつき	「わたしたちの国」 様々な地域の人々 のくらしを知る。									
	2	カクガクの手 すれちがひ	NHK for school 廣齊堂あかつき										
小2	4	あひだり	廣齊堂あかつき										
	12	ぐみのも	廣齊堂あかつき										
小1	5	どうぞ	廣齊堂あかつき										
	10	ほの花	廣齊堂あかつき										
くすのき	3	ひとのいい	小学校										
	9	ひとのいい	小学校										
豊岡南小学校	【人権理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									
	【道徳理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									
豊岡中学校	【道徳理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									
	【道徳理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									
豊岡南小学校	【道徳理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									
	【道徳理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									
豊岡中学校	【道徳理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									
	【道徳理解】 「わたしたちの国」を 読んで11月		「わたしたちの国」を 読んで11月	「わたしたちの国」を 読んで11月									

【12年間を見通した「学府重点内容項目に焦点化したカリキュラム」】

## (5) カリキュラム研究部の成果

- 全職員で道徳教育全体計画及び、別葉、道徳科年間指導計画等の作成、活用・改善を行うことにより、教員が全教育活動における道徳教育や道徳科と他の教育活動との関連を意識して、日々の授業や活動に取り組むことができた。そのことが、道徳教育の要である道徳科の授業を意図的、計画的に指導することにつながった。職員室では、自然と道徳科の授業や道徳教育に関わる活動のことが話題となり、どんなねらいをもって実践するのかなどを交流、共有する機会となり、共通理解、共通認識のもと、道徳教育にあたることができた。
- カリキュラムを活用して実践することで、道徳科の授業はもとより、道徳科の授業以外の活動を通して、子供たちの様々な道徳性が表れた姿を教員が見取ることができるようになった。
- 各校や学府で、子供たちのよさを伸ばす観点から重点内容項目を話し合い、実践したことで、めざす姿を共有し、3園3校で重点を意識した教育活動を行うことができた。また、よさを重点にしたことで、教員も子供たちもプラスの意識が働き、よさをより一層伸ばそうとする教育活動が増えた。
- 学府で12年間を見通して、計画・実践を行うことは、縦の接続と横の連携を強化し、より教育効果が高まると思われる。また、子供たちの成長を長いスパンで見通し、連続性、一貫性のある教育を実践する必要性を改めて感じた。

## (6) 今後も研究を続けたいこと

- ・作成した道徳教育全体計画、別葉等のカリキュラムの活用は、まだ十分とは言えない。どれだけ熟考を重ねて作成しても、活用するたびに改善が必要となる。常に活用しながらよりよいカリキュラムを模索し続けることが必要不可欠である。
- ・中学校においては、今年度が教科化元年であり、採択された教科書に合わせてカリキュラムを作り直す作業に多くの時間を費やした。今後、カリキュラムを活用してよりよい実践を積み重ねていきたい。
- ・各校における教育活動と道徳的価値と関連について、今後も見直しつつ、持続可能なものとして、実践していくことが大切である。